

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）

平成26年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
早川流域における降雨と地盤の保水・透水特性に着目した土砂流出特性に関する研究 (研究期間：H26年～H28年)	山梨大学 荒木 功平	C
<p>&lt;研究概要&gt;</p> <p>砂防施設の管理や危機管理を適切に実施するためには、土砂の流出形態の把握が必要であるため、富士川水系池の沢をフィールドとして、山腹斜面の土中水分の連続観測及び崩壊前後の地形変化の測量などの現地観測に基づき、斜面安定解析を用いて土中水分変化に伴う斜面安定性の評価手法の開発を目的とする。</p>		
<p>&lt;事後評価コメント&gt;</p> <p>本研究は、山腹斜面の土中水分の連続観測や崩壊前後の地形変化の測量など、現場における雪崩現象・土砂移動現象の詳細なモニタリングを行い、地盤の保水・透水特性に着目した土砂流出特性を示しており、土中水分を指標とした斜面安定度の評価に資することが期待できる。</p> <p>しかしながら、対象とする現象の物理メカニズムを考慮したモデル構築やパラメータの設定が必要であるとともに、モデルの根拠となるデータの計測が必須である。また、雪崩と表層崩壊を分離して研究を進める必要がある。</p> <p>今後は、上記課題を解決する検討を進めて頂きたい。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い